

< その他、取組に特徴がある事例 >

## 遊休農地のない美しい田園集落を目指して

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県 <sup>よこはま</sup> 横浜町 <sup>どめき</sup> 百目木 1			
協定面積 21.6ha	田 (100%) 水稲、牧草	畑	草地	採草放牧地
交付金額 171.2万円	個人配分	50 %		
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費	2 %	
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費	29 %	
		体制整備に関する活動経費	9 %	
		農用地維持管理活動経費	9 %	
その他	1 %			
協定参加者	農業者 34人			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は古くからの水田地帯で米を主とした農業を営んでいるが、水田のほとんどが未整備であり、高齢化の進行や耕作放棄地も増加傾向にあったことから、本制度に取り組むこととした。

### 3. 取組の内容

担い手の育成が急務であることから、認定農業者を1名確保（H20達成）したほか、近接する集落協定（百目木4集落）と連携し、お互いの集落協定内農用地において、水路・農道の維持管理作業を行っている。加えて、高付加価値農産物として、特別栽培米「青森クリーンライス」の生産にも取り組んでいる。

また、景観作物（春：なたね、夏：ひまわり）をプランターに作付して集落内の農免道路や国道沿いに設置し、付近を通りかかる人の目を楽しませている。



農道の草刈り作業



農免道路沿いに設置されたプランター

**[ 集落の将来像 ]**

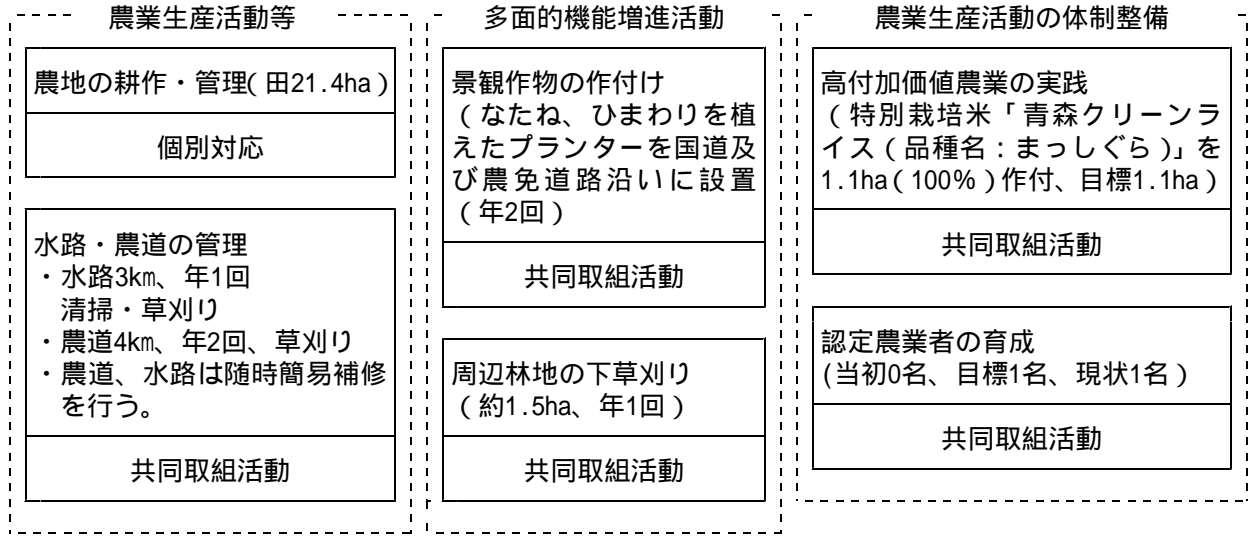
集落全体で農地及び水路・農道等の維持管理活動を行うほか、担い手の育成や特別栽培米などの高付加価値型農業に取り組み、農業生産の向上に努める。



**[ 将来像を実現するための活動目標 ]**

認定農業者の育成  
高付加価値型農業による特別栽培米の作付けの推進  
景観作物等による環境整備活動

**[ 活 動 内 容 ]**



**集落外との連携**

百目木4集落と連携し、両集落協定内農用地における水路・農道の維持管理作業を行っている。

**4. 取組による変化と今後の課題等**

近接する集落協定との共同作業等によって、お互いの集落及び集落内の住民の結びつきが強まっている。一方、当地区には神楽や能舞といった郷土芸能があり、保存活動も行われているものの、高齢者が年々増加していることもあり、郷土芸能の保存活動や担い手育成が急務となっていることから、周辺集落との更なる連携が必要である。

**[ 平成20年度までの主な成果 ]**

高付加価値型農業の実践による農業所得の向上  
・特別栽培米「青森クリーンライス」の生産(当初0a、目標1.1ha、H20実績1.1ha)  
担い手の確保のため、認定農業者の育成(当初0名、目標1名以上、H20実績1名)  
景観作物による環境整備活動  
・春はなたね、夏はひまわりをプランターに植え、国道及び農免道路沿いに設置し、付近を通行するドライバーや地域住民から好評を得ている。